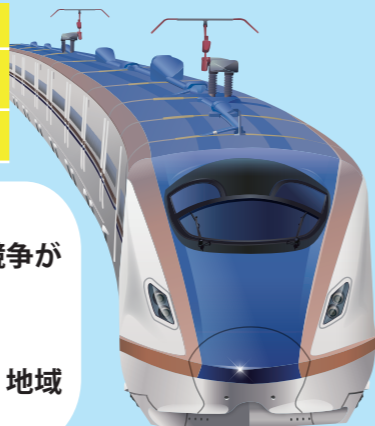


1

北陸新幹線の経済効果

北陸新幹線の経済効果試算・・・まだまだ小さい

| | | |
|----------|-------|-------|
| | 石川県 | 富山県 |
| 日本政策投資銀行 | 124億円 | 88億円 |
| 北陸経済研究所 | 182億円 | 118億円 |



●ストロー効果は？

大きな懸念はないが、北陸域内に加え長野などの都市間競争が始まる

●並行在来線への影響は？

地域の足としても観光の二次交通としても主役となりうる。地域全体で保護育成を

待ちの姿勢はダメ

2

これまでの新幹線

- ⇒東海道新幹線……………幸福な時代
- ⇒上越新幹線……………太平洋側と日本海側をつなぐ
- ⇒東北(北海道)新幹線……………デフレ時代に延伸
- ⇒九州新幹線……………東日本大震災翌日の全線開通
- ⇒長野新幹線…オリンピックの追い風と首都圏のベッドタウン化



これまでの新幹線は時代背景や首都圏との遠近などにより地域にもたらす変化も異なってきたほか、地域内にも盛衰をもたらした。新幹線による地域の活性化には、長く継続した取り組みが必要になる。

「北陸」のブランド復活
 活力ある圏域を創造
 生活と観光の先進地域

3

北陸新幹線の沿線が発展するには

- 関係者の多い北陸新幹線
- 新幹線を利用する新しい「街づくり」「地域づくり」を
- 行政／商工事業者／住民／産業界／JR／地域運輸事業者などが主体的に取り組む「地域のデザイン」が必要
 - ◎能登・福井にとって金沢延伸をどうとらえるか
 - ◎北陸に停車する4駅の発展の方向性
 - ◎国際交流と地域間連携



4

北陸の観光産業発展のために

■地元の人のホスピタリティを感じた

| 2012年度 順位 | | 2011年度 順位 | |
|-----------|------|-----------|-----|
| 順位 | 県 | 順位 | 県 |
| 1位 | 沖縄県 | 1位 | 沖縄県 |
| 2位 | 秋田県 | 2位 | 山形県 |
| 3位 | 岩手県 | 3位 | 秋田県 |
| 4位 | 鹿児島県 | 4位 | 福井県 |
| 5位 | 福井県 | 5位 | 岩手県 |
| 6位 | 熊本県 | 6位 | 長崎県 |
| 7位 | 山形県 | 7位 | 宮城県 |
| 8位 | 大分県 | 8位 | 愛媛県 |
| 9位 | 宮城県 | 9位 | 京都府 |
| 10位 | 愛媛県 | 10位 | 熊本県 |

今年トップ10入りしたのは、4位鹿児島県(前年度11位)、8位大分県(前年度13位)。例年東北と九州各県が目立つ。

1位の沖縄県で2.2ポイントアップしたが、全体平均は前年から横ばい。地元のホスピタリティを感じた具体的なスポットは、ホテル、観光スポット、買い物スポットに加え、タクシー、居酒屋、飲食店や市街地名が挙げられている。また、数自体は少ないものの「祭り」や体験型の観光スポットが挙げられており、地元の人と触れ合う体験の必要性を感じた結果となった。

北陸物語

| 2012年度 順位 | | 2011年度 順位 | |
|-----------|------|-----------|------|
| 順位 | 県 | 順位 | 県 |
| 1位 | 沖縄県 | 1位 | 沖縄県 |
| 2位 | 北海道 | 2位 | 京都府 |
| 3位 | 石川県 | 3位 | 北海道 |
| 4位 | 香川県 | 4位 | 鹿児島県 |
| 5位 | 福井県 | 5位 | 青森県 |
| 6位 | 宮城県 | 6位 | 広島県 |
| 7位 | 広島県 | 7位 | 富山県 |
| 8位 | 鹿児島県 | 8位 | 石川県 |
| 9位 | 福岡県 | 9位 | 高知県 |
| 10位 | 富山県 | 10位 | 宮城県 |

- 新幹線と観光の関係は
- 日本の観光業の問題点
- 北陸地域における観光の課題
 - ◎成長産業であることの自覚
 - ◎素材中心から作りこみへ
 - ◎ニューツーリズムへの取り組み
 - ◎広域推進機構の立ち上げを
 - ◎インバウンドへの取り組み